

問

主な質問と答弁

2月定例会中の代表質問は、3月1日、2日、3日の3日間にわたって行われました。今回の質問者は8人で、市長の政治姿勢、環境、福祉、都市整備、教育などについて、市の考えをいただきました。

財政調整基金

緊急時の財政需要に備え10億円を積み立て 著しい経済変動や災害時の財源確保を図る

質問 財政調整基金について、平成二十二年度に十億円の積み立てを行うとしているが、その理由と基金運用に当たっての基本的な考え方について聞きたい。

答弁 二十二年度の歳入については、収益増となった法人が多くあったことから、法人市民税の税収見込みが、当初予算との比較で約十三億円の増となる一方、歳出については、経費の削減に努めたことで、補正予算で総額七億二千万円の減額を行うことができた。

この歳入増と歳出削減の結果、二十二年度当初予算に計上した財政調整基金八億円は取り崩すことなく、さらに、十億円の財源確保ができる見込みとなったことから、今後の財政需要や財源不足に対応するため、基金に積み立てることとした。

この基金は、年度間の財政の不均衡を調整するために積み立てているもので、条例の規定により、著しい経済変動や災害時の財源不足への備え、緊急的な大規模建設事業などの財源として取り崩しができるとされている。

基金の取り崩しについては、今後の経済環境の変化により、市税を初めとする歳入が減少し、事業実施に当たっての財源不足も予想されることから、既存事業の見直しやさらなる経費の削減による歳出の削減を図りながらも、必要な行政水準を確保するための緊急的な対応として、条例の規定の範囲で対応していきたいと考えている。

市の掲げる地域分権 地域主権との違いは
質問 国が示した地域主権



市民活動団体を支援する拠点＝市民活動推進センター

質問 市民活動が活発になる中、新たに市内北部方面への市民活動推進センターの分館設置を検討していることだが、具体的なスケジュール等、今後の見通しについて聞きたい。

答弁 市民活動推進センターの分館設置を検討していることだが、具体的なスケジュール等、今後の見通しについて聞きたい。

北部方面に分館設置を検討 市民活動推進センター 市民活動の活性化を目指す

一に登録する市民活動団体の数は年々増加しており、現在の登録は四百を超えている。市民活動団体は、新しい公共の担い手として期待されることから、新たな活動の場や作業スペースの確保など、環境の整備が必要であると考えている。

この委員会では、①売却後検討していきたい。

答弁 本市の逼迫した財政状況を踏まえ、財源の確保等に向けて、市や土地開発公社、開発経営公社が保有する土地や建物の有効活用を目的として、方策の検討を目的として、公有地等活用検討委員会を設置している。

地域経営会議の役割 期待される活動は
質問 藤沢市地域分権と地域経営の推進に関する条例には、地域経営会議の役割が規定されているが、具体的にどのような活動を期待しているのか、見解を聞きたい。

また、地域経営会議は、条例で掲げている目的を達成するため、市長に対し意見・要望の提出や提言を行い、市長は、それらを予算や施策へ反映させることにより、互いに地域づくりを進めていくこととしている。

可能な公有地等の調査・選定・売却方法②期限つきで有効活用をすることが可能な公有地等の調査・選定・活用方策③公有地等の有効活用方策——などについて、調査検討を行っている。

会派別の代表質問項目

藤沢市公明党

- 1 いまも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」について
- 2 「藤沢のこどもたち」を育む環境の充実について
- 3 高齢期も安心して暮らせる藤沢のまちについて
- 4 障がいや支え合う温かな藤沢のまちについて
- 5 市民の健康を守る保健医療の充実について
- 6 安全で安心して暮らせる藤沢のまちについて
- 7 地域経済の活力と発展について
- 8 命を育む地球の環境保全について

さつき会

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 市民の力が育てる生活充実都市について
- 3 地域から地球に広がる環境行動都市について
- 4 さらなる可能性を追求する創造発信都市について
- 5 13地区ごとの特色あるまちづくりについて

ふじさわ自民・無所属の会

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 安全・安心のまちづくりについて
- 3 産業・観光について
- 4 環境施策について
- 5 生涯学習施策について
- 6 本市の財政状況について
- 7 教育施策について
- 8 都市計画について

藤沢民主党

- 1 市長の政治姿勢について

日本共産党藤沢市議会議員団

- 1 住民自治と公共のあり方について問う
- 2 市民のいのち・健康・くらしを守ることにについて
- 3 子どもたちの発達を保障する教育環境整備と子育て支援策の拡充を
- 4 地元中小業者と農漁業の振興策を拡大し、地域経済の活性化を
- 5 憲法9条を生かし、平和で爆音がない藤沢を大型開発はやめ、市民の福祉・医療・くらし優先に税金の使い方を切り替えることについて

自由松風会

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 新総合計画について

かわせみ会

- 1 市長の政治姿勢について